



# ホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブ

リファレンス ガイド

初版 (2001年1月)  
製品番号 222462-191  
コンパックコンピュータ株式会社

## ご注意

© 2001 Compaq Computer Corporation  
© 2001 コンパックコンピュータ株式会社

ProLiantは、米国Compaq Computer Corporationの登録商標です。

Compaq、AlphaServerおよびCompaqロゴは、米国Compaq Computer Corporationの商標です。

Alphaは、米国Compaq Information Technologies Group, L.P.の商標です。

Microsoft、MS-DOS、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。コンパック製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の使用の結果生じるあらゆるリスクはお客様負担となります。いかなる場合もコンパックは、直接損害、間接損害、結果損害、その他いかなる損害（業務の中断、業務情報の喪失、業務上利益の逸失から生じる損害を含むがこれらに限られません）についても何らの責任も負担しません。コンパックが当該損害の発生の可能性について知らされていた場合でも、また、過失を含め、契約上の行為または不法行為のいずれによる損害についても、同様にコンパックは何らの責任も負担しません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブ リファレンス ガイド  
初版（2001年1月）  
製品番号 222462-191

# 目次

## このガイドについて

表記上の規則 .....	v
本文中の記号 .....	vi
困ったときは .....	vi
コンパックのWebサイト .....	vi
コンパック カスタマーセンター .....	vi

## Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブ

はじめに .....	1
特長 .....	2
情報の入手先 .....	3
Intelベースのサーバ用他社製ソフトウェア アプリケーション .....	4
ソフトウェア管理ツール .....	4
推奨する設定 .....	5
推奨する設置場所 .....	6
Intelベースのサーバへのインストール .....	7
ソフトウェアの要件 .....	7
IntelベースのProLiantサーバへの新規インストール .....	7
ハードウェアのインストール .....	9
既存のIntelベースのProLiantサーバへの新しいドライブのインストール .....	11
Intelベースのサーバでのホットプラグ対応テープ ドライブの交換 .....	14
Alphaベースのサーバでのドライブのインストールまたは交換 .....	15
OpenVMS .....	15
Tru64 UNIXバージョン4.0F .....	15
Tru64 UNIXバージョン5.0 .....	16
テープ ドライブ ハット オプションの取り付け .....	16
トラブルシューティング .....	17

# このガイドについて

このガイドでは、インストール手順を説明します。また、操作、トラブルシューティング、および将来必要となるアップグレードの手順についても説明します。

## 表記上の規則

このガイドでは、以下の表記規則を採用しています。

キー	<b>Enter</b> や <b>F10</b> などのキーの名前は、太字で、先頭の文字だけを大文字で表記します。2つのキーの間の正符号 (+) は、それらのキーを同時に押さなければならないことを示します。
ユーザ入力	別の字体の大文字で表記します。
ファイル名	イタリック体の大文字で表記します。
メニュー オプション、 コマンド名、 ダイアログ ボックス名	[ ]で囲み表記します。
コマンド、 ディレクトリ名 およびドライブ名	すべて大文字で表記します。
タイプ	「タイプしてください」と指示されている場合、キーボードから情報を入力した後に <b>Enter</b> キーを押す必要はありません。
入力	「入力してください」と指示されている場合、情報を入力した後に <b>Enter</b> キーを押します。

## 本文中の記号

本文中の以下の記号の意味を示します。



**警告:** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。

---



**注意:** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

---

**重要:** 詳しい説明や具体的な手順を示します。

---

**注:** 解説、補足または役に立つ情報を示します。

## 困ったときは

問題が発生し、このガイドの情報だけでは解決できない場合、次のところから詳細な情報やその他のヘルプ情報を入手できます。

## コンパックのWebサイト

コンパックのWebサイトでは、最新のドライバやフラッシュROMに関する製品情報を提供しています。コンパックのWebサイト (<http://www.compaq.co.jp> または <http://www.compaq.com>) にアクセスするには、インターネットにログインする必要があります。

## コンパック カスタマーセンター

コンパックのフリーダイヤル (全国どこからでも無料です) のホットラインで、各種の技術的なご質問にお答えしておりますので、ご利用ください。

コンパック カスタマーセンター

電話番号



とってもいいねコンパック

**0120-101589**

ご利用時間帯

月曜日～金曜日

9:00～12:00 および 13:00～17:00

(祝祭日、コンパック指定休日を除く)

# Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープドライブ

## はじめに

Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブは、一定範囲の容量を提供し、高可用性データ保護を実現します。ホットプラグ対応テープドライブの利点は、次のとおりです。

- サーバの稼動時間を向上させる高可用性データ保護
- より大容量のテープドライブへのアップグレードが簡単
- 同じテクノロジーのドライブとの下位互換性を備え、完全な投資保護を実現
- 保守とインストールの簡素化

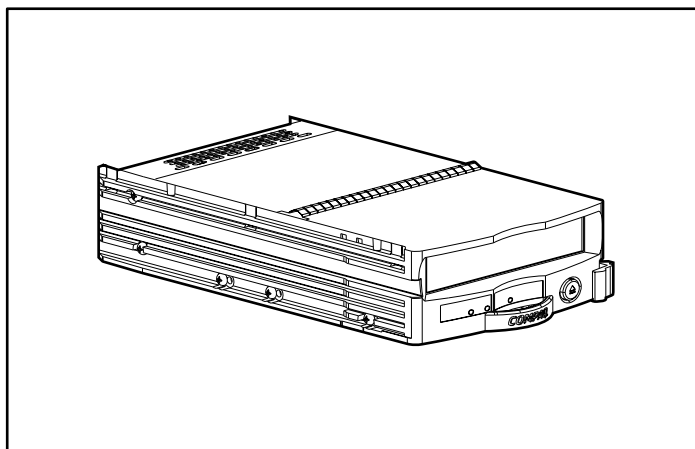


図1. Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブ

## 2 Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブ リファレンス ガイド

Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブには、容量の異なる複数のモデルがあります。現在、提供されている容量は、次のとおりです。

- AITテクノロジー、50/100GB、転送速度6/12MB/秒
- AITテクノロジー、35/70GB、転送速度4/8MB/秒
- DDS-4テクノロジー、20/40GB、転送速度2.3/4.6MB/秒

### 特長

- 真のホットプラグ機能
- VERITAS Backup ExecおよびComputer Associates ARCserve 2000の最新バージョンとの互換性
- Windows NT、Windows 2000、NetWare、Tru64 UNIX、OpenVMS環境でサポート
- 同じテープ テクノロジー ファミリ内での下位互換性。以前に書き込まれたメディアの読み出し/書き込みが可能
- 3.5インチ ドライブ エンクロージャ (筐体)
- 同じコントローラ上で、ハードディスク ドライブとテープ ドライブの組み合わせが可能 (サポートされるコントローラのリストについては、コンパクのWebサイト<http://www.compaq.com/> (英語) を参照)
- 同じStorageWorks™外付エンクロージャ、ProLiant™サーバ、AlphaServer™、またはラックマウント型エンクロージャ上で、ハードディスクとテープ ドライブの混在が可能
- 小型のフォーム ファクタ
- 業界標準インタフェース、SCA IIコネクタを使用するLVDによりインストールが簡単
- Compaq TA1000 AITテープ アレイとの互換性

## 情報の入手先

表1に、Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブについての情報の入手先を示します。

**表1**  
**情報の入手先**

情報の内容	入手先
クイック インストレーション	ドライブに同梱されている『ホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブ』カード
サポートされるサーバ、エンクロージャ、およびコントローラ	コンパックのWebサイト <a href="http://www.compaq.com/products/storageworks/">http://www.compaq.com/products/storageworks/</a> (英語)
保証	ドライブに同梱されている『保証規定書』
テープ/ドライブの仕様	ドライブに同梱されているコンパック製テープ ドライブのリファレンス ガイド
SCSI IDの設定	ドライブに同梱されているコンパック製テープ ドライブのリファレンス ガイド
ソフトウェア ドライバのインストール	ドライブに同梱されているコンパック製テープ ドライブのリファレンス ガイド
ドライブの操作	ドライブに同梱されているコンパック製テープ ドライブのリファレンス ガイド
ドライブのクリーニング	ドライブに同梱されているコンパック製テープ ドライブのリファレンス ガイド
トラブルシューティング	ドライブに同梱されているコンパック製テープ ドライブのリファレンス ガイド



## Intelベースのサーバ用他社製ソフトウェア アプリケーション

すべてのCompaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブは、VERITAS Backup ExecおよびComputer Associates ARCserve 2000ソフトウェア プログラムと互換性があります。各テープ ドライブには、トライアル版ソフトウェアが同梱されており、どちらのソフトウェアが適切かを判断してから、ライセンスを購入することができます。ソフトウェアの購入については、これらのCDに付属のブックレットを参照してください。

## ソフトウェア管理ツール

Compaq Insightマネージャおよびテープ ストレージ管理コンソール (TSMC) は、ご使用のドライブに同梱されています。これら2つのツールは、問題が実際に発生する前に、問題を確認するのに役立ちます。

### Compaq Insightマネージャ

Compaq Insightマネージャは、Compaq ProLiantサーバの動作を監視し、制御する総合管理ツールです。Compaq Insightマネージャは、Windowsベースのコンソール アプリケーションと、サーバまたはクライアント ベースの管理データ収集エージェントの2つのコンポーネントから構成されています。Compaq Insightマネージャ4.0からは、Windows NTおよびNetWare用のエージェントは、Webにも対応しています。

マネジメント エージェントは、1,000個以上の管理パラメータを監視します。主要サブシステムは、稼動状況、設定、および性能データをエージェント ソフトウェアに提供するように設計されています。エージェントは、データに基づいて、障害が発生した場合にアラームを発行し、ネットワーク インタフェースやストレージサブシステムの性能統計データなどの最新管理情報を提供します。

### テープ ストレージ管理コンソール

この製品は、コンパック製品のお客様および訓練された保守担当者の両方を対象にしています。TSMCを構成する診断、テスト、およびツールは、コンパックのテープ製品のインストールと継続的使用に役立つように設計されています。

ツールは、SCSI、シリアル インタフェース、およびSAN経由で接続されているテープ製品の問題と障害を検索し報告します。この機能は、主に、TSMCに組み込まれた標準テストおよびカスタム テストを使用して実行されます。これらのテストは、コンパックが開発したエンジニアリング機能テストまたはストレス機能テストをエミュレートします。デバイスを初めてインストールする場合、TSMCを実行して、購入したテープ ドライブが正しくインストールされ、ご使用のシステムで使用できることを確認してから、その他のアプリケーションソフトウェアをロードすることができます。

さらに、TSMCツールを使用して、ファームウェアをテープ ドライブに同時または別にロードできます。インターネットに接続している場合、TSMCは、適切なコンパックのWebサイトを検索して、ご使用のデバイスに必要な最新ファームウェアを見つけ出します。TSMCの新しいバージョンにも、Web経由でアクセスできます。

## 推奨する設定

次の推奨事項を参照してから、ユニバーサル テープ ドライブをインストールしてください。

- ユニバーサル テープ ドライブは、ハードディスク ドライブおよびハードディスク ドライブRAIDコントローラと互換性があり、一緒に設定できます。ただし、ハードディスクドライブRAIDセットとは別のボリュームとして識別されます。
- 1つのバス上に4台以上のテープ ドライブをインストールすると、テープ ドライブへ重いデータを転送中に、ハードディスク ドライブのパフォーマンスが低下することがあります。テープ ドライブがアイドル状態のときは、ハードディスク ドライブのパフォーマンスが低下することはありません。
- テープ ドライブ専用の独立したコントローラを使用する必要はありません。ホットプラグ機能により、同じSCSIバス上で、テープ ドライブとハードディスク ドライブを混在させることができます。

## 推奨する設置場所

最適な性能を実現するには、インストールに関する次の推奨事項を参照してください。

**表2**  
テープドライブのインストールに関する推奨事項

Compaq StorageWorksエンクロージャ		
モデル	型	推奨する設置場所
4354*、4314*、 4214*	ラックマウン ト型	最初のテープ ドライブを、右端のスロットにインストールしてください
4354*、4314*、 4214*	タワー型	最初のテープ ドライブを、一番上のスロットにインストールしてください
4310	ラックマウン ト型	最初のテープ ドライブを、右から <b>2番目</b> のスロットにインストールしてください。
4310	タワー型	最初のテープ ドライブを、一番上のスロットにインストールしてください
Compaq ProLiantサーバ		
モデル	型	推奨する設置場所
ML370*	ラックマウン ト型	最初のテープ ドライブを、左から <b>3番目</b> のスロットにインストールしてください
ML370*	タワー型	最初のテープ ドライブを、下から <b>3番目</b> のスロットにインストールしてください

\*注: この製品では、テープ ドライブ ハットを取り付ける必要があります。テープ ドライブは、2つの1インチ スロットを使用します。

## Intelベースのサーバへのインストール

ホットプラグ対応テープ ドライブは、簡単に取り付けることができます。梱包箱を開き、このドライブに使用できるホットプラグ対応ベイを確認して、ドライブをベイに挿入してください。次に、インストールする適切なソフトウェアを決定してください。テープ ドライブに同梱されているキットには、2つのトライアル版ソフトウェア（VERITAS Backup Exec およびComputer Associates ARCserve 2000）が含まれています。

このドライブは、ユニバーサル ドライブ キャリアを使用しているため、ホットプラグ対応ユニバーサル ドライブベイを装備したあらゆるコンパック製サーバまたはエンクロージャに取り付けることができます。ドライブのホットプラグ機能をサポートするには、新しいコントローラが必要です。これらの機能をサポートするコントローラに関する最新の情報については、コンパックのWeb サイト<http://www.compaq.com/>（英語）を参照してください。



**注意:** 静電気放電によって電子部品が損傷する場合があります。必ず、正しくアースを行ってからこの手順を開始してください。静電気対策については、コンピュータに同梱されているマニュアルを参照するか、またはコンパック製品販売店にお問い合わせください。

## ソフトウェアの要件

ユニバーサル テープ ドライブをインストールするには、次のソフトウェアが必要です。

- Compaqユニバーサル テープ ドライブ サプリメンタルCD

または

- Compaq SmartStart and Support Software CDバージョン5.0以上

## IntelベースのProLiantサーバへの新規インストール

Microsoft Windows NTまたはMicrosoft Windows 2000を使用する新しいサーバに、新しいドライブをインストールするには、以下の手順に従ってください。

**注:** 以下の手順を実行するには、管理者の権限を持つ必要があります。

1. サーバに同梱されているSmartStart CDを使用して、オペレーティング システムおよび必要なコンパック製ドライバおよびマネージメント エージェント ソフトウェア等をインストールします。

**注:** この時点では、他社製バックアップ アプリケーション ソフトウェアをインストールしないでください。

## 8 Compaqホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブ リファレンス ガイド

2. ご使用のストレージ エンクロージャに対応するコントローラ用のファームウェアおよびドライバがホットプラグ対応テープ ドライブをサポートしていることが確実でない場合は、ホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブに同梱されているCDを使用して、ファームウェアとドライバをアップグレードします。
3. 新しいテープ ドライブをインストールします。ドライブの推奨する設置場所については、表2を参照してください。
4. 30秒以上、待ちます。
5. [コントロール パネル] (Windows NT) または[デバイス マネージャ] (Windows 2000) を使用して、SCSIバスを再スキャンし、新しく追加されたテープ ドライブを検出します。

Windows NTでは、[コントロール パネル]から、[テープ デバイス]アイコンをクリックし、[検出]ボタンを選択します。

Windows 2000では、[デバイス マネージャ]から、コンピュータ名を右クリックし、[ハードウェア変更のスキャン]を選択します。
6. ここでは、ドライバをロードする指示については、すべてキャンセルします。他社製バックアップ ソフトウェアが、必要なドライバをインストールします。
7. ドライブが検出されたら、適切な他社製バックアップ アプリケーション ソフトウェアをインストールします。

### Computer Associates ARCserve 2000を使用する場合

1. ARCserveを起動します。ARCserveを最初に行うと、新しいテープ ドライブが自動的に検出されます。
2. ARCserveのデバイス設定に、テープ ドライブが表示されていることを確認します。

以上で、新しいドライブを使用できます。

### VERITAS Backup Execを使用する場合

1. Backup Execをインストールすると、新しいテープ ドライブが自動的に検出され、ドライバのインストールを指示されます。Backup Execを使用して、ご使用のデバイス用のVERITASバージョン ドライバをインストールします。
2. サーバを再起動します。
3. Backup Execを起動して、デバイス設定にテープ ドライブが表示されていることを確認します。

以上で、新しいドライブを使用できます。

### ハードウェアのインストール

次の各図に、インストールのさまざまな種類を示します。

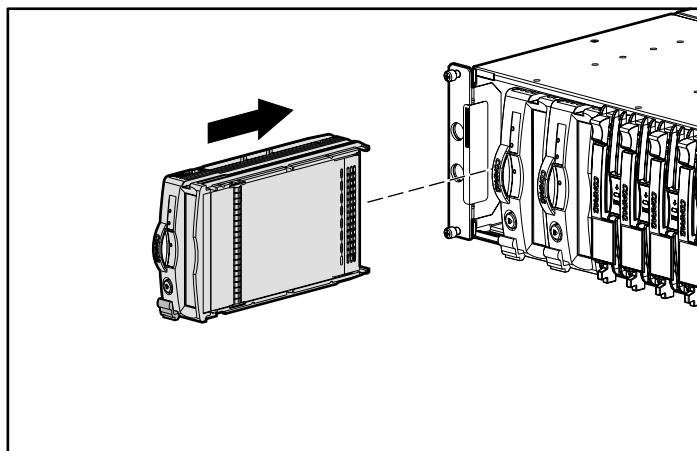


図2. ラックマウント型へのインストール

## 10 Compaqホットプラグ対応ユニバーサルテープドライブ リファレンス ガイド

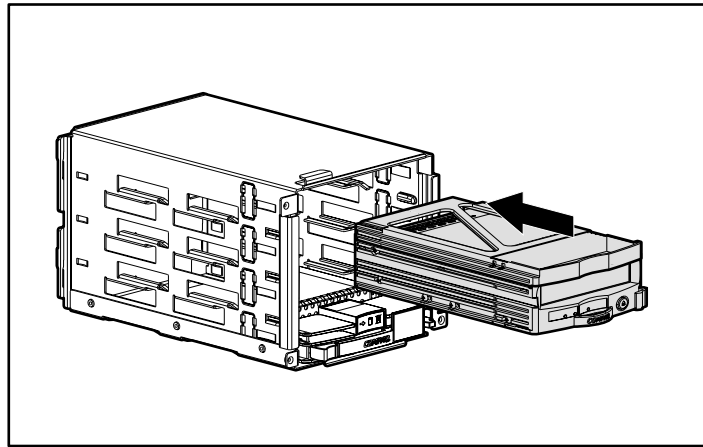


図3. ユニバーサル ドライブ ベイへのインストール

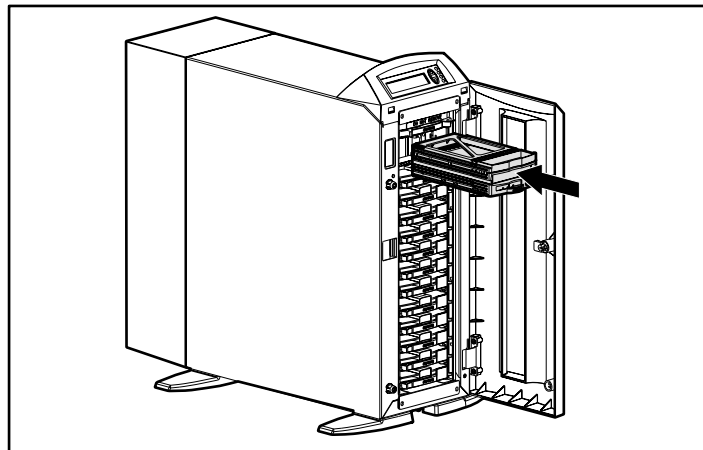


図4. タワー型ストレージ エンクロージャへのインストール

## 既存のIntelベースのProLiantサーバへの新しい ドライブのインストール

Microsoft Windows NTまたはWindows 2000を使用する既存のサーバに、新しいドライブをインストールするには、以下の手順に従ってください。

### 他社製バックアップアプリケーションソフトウェアが、 すでにインストールされている場合

**注:** 以下の手順を実行するには、管理者の権限を持つ必要があります。

1. バックアップ動作が進行中でないことを確認します。
2. 開いているアプリケーションがあれば、終了します。
3. ご使用のストレージ エンクロージャに対応するコントローラ用のファームウェアおよびドライバがホットプラグ対応テープ ドライブをサポートしていることが確実でない場合は、ホットプラグ対応ユニバーサル テープ ドライブに同梱されているCDを使用して、ファームウェアとドライバをアップグレードします。
4. 新しいテープ ドライブをインストールします。ドライブの推奨する設置場所については、表2を参照してください。
5. 30秒以上、待ちます。
6. [コントロール パネル] (Windows NT) または[デバイス マネージャ] (Windows 2000) を使用して、SCSIバスを再スキャンし、新しく追加されたテープ ドライブを検出します。

Windows NTでは、[コントロール パネル]から、[テープ デバイス]アイコンをクリックし、[検出]ボタンを選択します。

Windows 2000では、[デバイス マネージャ]から、コンピュータ名を右クリックし、[ハードウェア変更のスキャン]を選択します。

7. ここでは、ドライバをロードする指示については、すべてキャンセルします。他社製バックアップソフトウェアが、あらゆる必要なドライバを変更します。

### Computer Associates ARCserve 2000を使用している場合

1. ARCserveのすべてのジョブ エンジンを、停止した後に、再起動します。この操作によって、アプリケーションが新しいドライブをデバイス設定に追加します。
2. ARCserveを再び使用し、新しいドライブが、デバイス設定に表示されていることを確認します。

以上で、新しいドライブを使用できます。



### VERITAS Backup Execを使用している場合

1. Backup Execを開き、[デバイス構成ウィザード]を起動します。
2. [デバイスの設定]を選択します。
3. "VERITASデバイス ドライバをインストールするには、"の横の矢印を選択します。Backup Execは、新しいテープ ドライブを検出し、適切なVERITASドライバをインストールします。表示されるプロンプトに従って、[デバイス構成ウィザード]での作業を完了します。
4. Backup Execを終了します。
5. サーバを再起動します。
6. Backup Execを再び開き、新しいドライブが、デバイス設定に表示されていることを確認します。

以上で、新しいドライブを使用できます。

### 他社製バックアップアプリケーション ソフトウェアを、まだインストールしていない場合

注: 以下の手順を実行するには、管理者の権限を持つ必要があります。

1. バックアップ動作が進行中でないことを確認します。
2. 開いているアプリケーションがあれば、終了します。
3. ご使用のストレージ エンクロージャに対応するコントローラ用のファームウェアおよびドライバがホットプラグ対応テープ ドライブをサポートしていることが確実でない場合は、ホットプラグ対応ユニバーサルテープドライブに同梱されているCDを使用して、ファームウェアとドライバをアップグレードします。
4. 新しいテープ ドライブをインストールします。ドライブの推奨する設置場所については、表2を参照してください。
5. 30秒以上、待ちます。
6. [コントロール パネル] (Windows NT) または[デバイス マネージャ] (Windows 2000) を使用して、SCSIバスを再スキャンし、新しく追加されたテープ ドライブを検出します。

Windows NTでは、[コントロール パネル]から、[テープ デバイス]アイコンをクリックし、[検出]ボタンを選択します。

Windows 2000では、[デバイス マネージャ]から、コンピュータ名を右クリックし、[ハードウェア変更のスキャン]を選択します。

7. ここでは、ドライバをロードする指示については、すべてキャンセルします。他社製バックアップソフトウェアが、あらゆる必要なドライバを変更します。
8. オペレーティング システムがテープ ドライブを検出したら、適切な他社製バックアップ アプリケーション ソフトウェアをインストールします。

### **Computer Associates ARCserve 2000を使用する場合**

1. ARCserveを起動します。ARCserveを最初に行うと、新しいテープ ドライブが自動的に検出されます。
2. 新しいドライブが、デバイス設定に表示されていることを確認します。

以上で、新しいドライブを使用できます。

### **VERITAS Backup Execを使用する場合**

1. Backup Execをインストールすると、新しいテープ ドライブが自動的に検出され、ドライバのインストールを指示されます。Backup Execを使用して、ご使用のデバイス用のVERITASバージョン ドライバをインストールします。
2. サーバを再起動します。
3. Backup Execを起動して、デバイス設定にテープ ドライブが表示されていることを確認します。

以上で、新しいドライブを使用できます。

## Intelベースのサーバでのホットプラグ対応 テープドライブの交換

故障したドライブを交換するか、または大容量ドライブにアップグレードする場合は、ストレージ エンクロージャ システムまたはサーバに同梱されているマニュアルを参照して、ドライブを確認し、取り外してください。

---

**重要:** テープの動作中やデータの転送中にドライブを取り外さないでください。

---

Microsoft Windows NTまたはMicrosoft Windows 2000環境で、ドライブを交換するには、以下の手順に従ってください。

1. 交換するドライブで処理が行われていないことを確認し、メディアが入っていれば、ドライブから取り出します。



**警告:** 感電する危険がありますので、カセットがドライブ内に詰まった場合、テープドライブを開けようとししないでください。すべての修理について、コンパック正規保守代理店にお問い合わせください。

---

2. 使用中の他社製バックアップアプリケーションがあれば、終了します。
3. イジェクトラッチを押し上げます①。
4. ハンドルを引いて取り出します②。

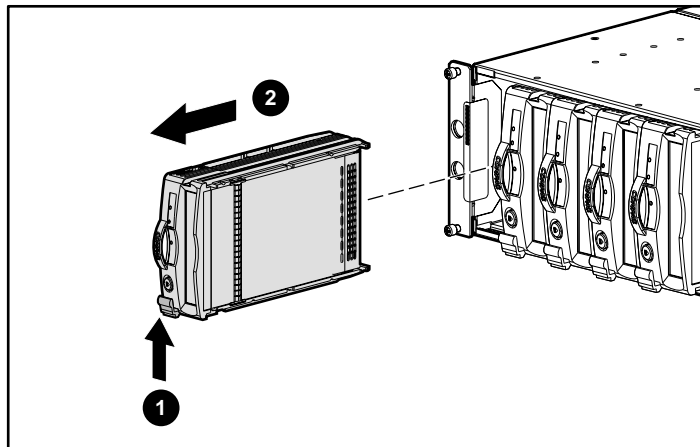


図5. ドライブを取り外す

5. 新しいテープドライブを、同じスロットにインストールします。ドライブは、空きスロットにスライドさせて押し込むだけで取り付けることができます。ドライブがコネクタにしっかりと固定され、カチッという音がしてリリースラッチがはまるまで、押し込んでください。図2~4を参照してください。
6. 手順1で取り出したメディアを、新しいドライブに挿入します。

7. 30秒以上、待ちます。
8. 他社製バックアップ アプリケーション ソフトウェアを開き、交換したドライブが、デバイス設定に表示されていることを確認します。

以上で、ドライブを使用できます。

## Alphaベースのサーバでのドライブのインストールまたは交換

Alphaベースのサーバで、ドライブをインストールまたは交換する場合は、以下の手順に従ってください。

### OpenVMS

OpenVMSをインストールしているAlphaベースのサーバに、コンパクト製のユニバーサル テープ ドライブをインストールまたは追加する場合は、次のようにタイプしてください。

```
MCR SYSMAN IO CONNECT AUTO/LOG <Enterキー>
```

### Tru64 UNIXバージョン4.0F

Tru64 UNIXバージョン4.0FをインストールしているAlphaベースのサーバに、コンパクト製のユニバーサル テープ ドライブをインストールまたは追加する場合は、次のようにタイプしてください。

```
SCU <Enterキー>  
SCAN EDT <Enterキー>  
SHOW EDT <Enterキー> (このコマンドで、デバイスが検出されていることを確認します)  
EXIT <Enterキー>
```

## Tru64 UNIXバージョン5.0

Tru64 UNIXバージョン5.0をインストールしているAlphaベースのサーバに、コンパック製のユニバーサル テープ ドライブをインストールまたは追加する場合は、次のようにタイプしてください。

SCU <Enterキー>

SCAN EDT <Enterキー>

SHOW EDT <Enterキー> (このコマンドで、デバイスが検出されていることを確認します)

EXIT <Enterキー>

DoConfig - d <Enterキー> (このコマンドで、カーネルを再構築して、ドライブが動作できるようにします)

## テープ ドライブ ハット オプションの 取り付け

この1.6インチのドライブを、2つの1インチ ベイを使用して取り付ける場合は、図6に示すように、テープ ドライブ ハットをドライブに取り付けてください。



**注意:** テープ ドライブ ハットは、一度取り付けると取り外すことはできません。取り付けたコンバータを取り外そうとすると、テープ ドライブの保証は無効になります。

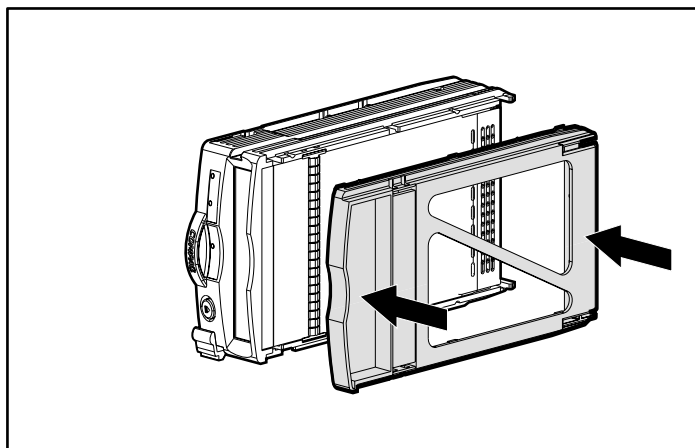


図6. テープ ドライブ ハットを取り付ける

## トラブルシューティング

Microsoft Windows NTまたはMicrosoft Windows 2000を使用するIntelベースのProLiantサーバの場合

### **[コントロール パネル] ( Windows NT ) または[デバイス マネージャ] ( Windows 2000 ) に、新しいデバイスが表示されない**

1. 現在のストレージ エンクロージャ用のコントローラ ファームウェアおよびドライバが、ホットプラグ対応テープ ドライブをサポートしていることを確認します。
2. Windows NTの場合は**[検出]**ボタン、Windows 2000の場合は**[ハードウェア変更のスキャン]**を、実際に選択していることを確認します。[テープ デバイス]アイコンをクリックすると、ただちに他の処理が表示される場合があり、オペレーティング システムがSCSIバスをスキャンしていると思ってしまうことがあります。"Creating a driver list"という表示は、そのような処理の一例です。この処理は、バスをスキャンしません。この動作は、説明に従って、手動で起動しなければなりません。
3. 前の手順のどちらを実行しても問題が解決しない場合は、以下の手順に従ってください。
  - a. サーバをシャットダウンします。
  - b. テープ ドライブを取り外します。
  - c. テープ ドライブを取り付けなおします。
  - d. サーバを再起動します。
  - e. [コントロール パネル] ( Windows NT ) または[デバイス マネージャ] ( Windows 2000 ) から、[テープ デバイス]アイコンをクリックし、このドライブが検出されていることを確認します。
  - f. 他社製バックアップ アプリケーションを使用して、そのデバイス設定でテープ デバイスが検出されていることを確認します。

以上で、ドライブを使用できます。

### **他社製バックアップ アプリケーションがデバイスを認識しない**

他社製バックアップ アプリケーションのサービスまたはジョブ エンジンを、すべて停止してから、再起動します。それでも、問題が解決されない場合は、サーバを再起動します。

### 交換されるドライブが無効、故障、またはオフラインだった

交換されるドライブが、交換時に、無効、故障、またはオフライン状態であった場合、さらに以下の手順を実行して、ドライブを動作可能状態に復帰させなければならない場合があります。

#### VERITAS Backup Execの場合

1. [デバイス管理]の下で、問題のドライブを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
2. [プロパティ]で、[構成]タブを選択します。
3. [Backup Execのデバイス使用]オプションの表示をオフにします（これによって、チェック マークが削除されます）。
4. [適用]ボタンをクリックします。
5. [Backup Execのデバイス使用]オプションをオンにします（これによって、チェック マークが再び表示されます）。
6. [適用]ボタンをクリックします。
7. [OK]をクリックします。

これによって、テープ ドライブは、動作可能状態に戻るはずですが、それでも、ドライブが動作可能状態にならない場合は、Backup Execに関連するすべてのサービスを停止してから、再起動してください。

#### Computer Associates ARCserveの場合

1. ジョブ エンジンすべてを停止します。
2. すべてのジョブ エンジンを再起動します。